



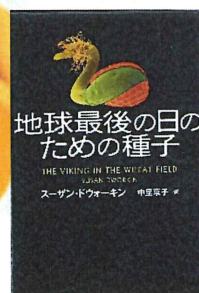
何をするにも快適で、集中するにはもってこいの気持ちのいい日が続く「秋」
今号は「秋」をテーマに芸術・読書・自然などに触れて親しみ、こころ豊かなひとときを送るのに最適な本を集めてみました。秋の夜長のお供にどうぞ。

アートの秋

『シヴェルニーの食卓』 原田マハ 著/集英社 分類：913.6/ハラ
ストーリー仕立ての「絵画を読む」作品です。秋の夜長に、ちょっと視点を変えたアートは如何ですか？
ドガ・セザンヌ・モネ・マティス。名画の背景にあったかもしれない物語。
19世紀後半のフランス、各画家の代表的な作品を身近な女性の目を通して描いた短編4作。

実りの秋

『地球最後の日のための種子』 スーザン・ドヴォーギン 著/中里京子 訳
文藝春秋 分類：615
「もし種が消えたら、食べ物が消える。そして君もね」
本書は、作物遺伝子を保存する銀行ジーンバンク設立に奔走した植物学者ペン
ト・スコウマン氏の科学ノンフィクションです。
読み進むうち、世界の食料を守るには、植物の多様性を守ることがどれほど必要
かわかってきます。
スコウマン氏のジョークが現実にならないように願いながら…



食事をとおして、大切な人と素敵なひとときを

盛り付けのルールとコツをつかむだけで、普段の料理がこんなに変わる！
とびっきりのディナーは、絵を描くように器に盛り付けてみてはいかがでしょうか。



『誰か来る日のための素敵な飾りつけ 盛り付けはセンスよりコツ』

久保香菜子 著/成美堂出版 分類：596

「センスよりコツ」このタイトルにグッと惹かれます。

センスがなくても大丈夫！

色やバランスなど盛り付けのポイントがわかりやすく載っています。さらっと
読めて、ばっちりコツがつかめる一冊。盛り付けの全レシピ付き。

大切なおもてなしの日に心奪われるような素敵な一皿を作ってみてはいかがでしょうか？



本好き！

図書館員オススメ本の展示

森の図書館一般書コーナーは、10月の展示として当館スタッフが自信をもってオススメできる本を紹介させていただきます。

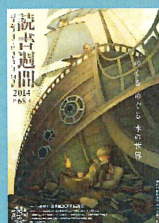
マニアックなところもございますがそこはご愛嬌♥

ぜひ、ちらっと覗きにいらしてください。

(もちろん、本は貸し出しできます)



読書週間



10月27日から11月9日は、読書週間です。2014年読書週間の標語が今年も発表されました。

『めくるめぐる本の世界』

「ページをめくるときのワクワクした気持ち」「たくさん本と出会う機会を作っていきたい」そんな思いでこの標語は作られました。

みなさんもぜひ本の世界を旅してみましょ